

現代の小中学生が好む色とその連想語に関する研究

A study of the color preference and its word associations
in elementary and junior high school students

名取和幸

Kazuyuki Natori

日本色彩研究所

Japan Color Research Institute

Keywords: 色彩嗜好, 単色, 配色, 小中学生, 連想語

1. はじめに

現代の日本の子どもたちにおける色彩嗜好の傾向を把握するため、これまで 2009 年と 2011 年に、全国の小中学生男女を対象とした色彩好悪調査を実施してきた。2 回のいずれにおいても、小学生の男子、取分け小 2 男子は金色を非常に好むこと、小学生女子はピンクよりも水色を好むという結果が確認されている。本調査では、(1) これらの傾向の安定性について、(2) 男女における嗜好傾向の相違と学年による変化について、そして (3) 好きな色の選択理由を検討することを目的として以下の調査を行った。

2. 方法

アンケート調査により、設問に該当する色カラーチャートの中から選択、回答させた。北海道、東京、兵庫、福岡の小学校 10 校、中学校 8 校において、小学 2 年生 (男子 430 名, 女子 408 名)、5 年生 (男女: 484 名と 478 名)、及び中学 2 年生 (男女: 570 名と 507 名) の男女計 2,877 名から回答を得た。カラーチャートは、小学生には基本色 21 色、中学生には色相 10 種とトーン 6 種と無彩色から成る 67 色を配列したもの (共に金銀を含む) を用いた (図 1)。配色には 3×3 の市松状に色を配列したイメージの異なる 10 種類を用いた (図 1)。調査は 2014 年 10~12 月に、昼光の入る教室で通常の人工照明を併用して集団で実施した。なお色覚特性による参加除外は行っていない。

単色の好き嫌いは、小・中学生共に好きな色と嫌いな色を 2 色ずつ順位をつけて選択させた。配色は小学生には好きな配色と嫌いな配色を 1 つずつ、中学生には好き、嫌い共に 2 つずつの配色を順位をつけて選択させた。

次いで小学生男子には、「金色から思いうかぶ

ものや、金色の感じなど」を自由に回答させる連想語調査を行った。小学生女子には、過去の調査から女子が好みやすいライトトーンの中からピンク、水色、薄紫の 3 色を選び、好きな色の選択と理由の記述を求めた。なお、参加者全員に対して多くの商品ごとに欲しい色についての質問も行った。また、中学生には色を特に気にして買う商品を選択してもらったが、それらの結果は本報告では割愛する。

3. 結果と考察

3-1 嗜好色と嫌悪色の傾向

男子では小学生、特に小 2 の男子は圧倒的に金色を好み、銀、青がそれに続いて人気が高いが、中学生になると金色の人気は低下した (表 1, 図 2, 4)。また、年齢が上がるに連れて金と銀への嗜好集中が弱まり、黒の人気上昇の傾向がみられた。女子からは小・中学校を問わず水色が非常に好まれ、ピンクは小 5 では 2 位となったが、小 2, 中 2 での嗜好順位はあまり高くなかった。

嫌悪色 (図 3, 4) については、小学生男子ではピンクがワースト 1 位であるが、他の全年齢・性別ではいずれもオリーブ・黄土色が最も嫌いな色に選ばれた。これは成人と類似した傾向である。

色彩好悪の主な傾向は以下ようになる。1) 男女による色の好みはその色調において大きく異なり、年齢が下がるほど違いは顕著である。男子は鮮やかな色調の青、赤、黒、そして金、銀など力強い色を好み、ピンクを嫌う。女子は水色、黄色、ピンクなど明るい色調を好む。2) 低学年ではいくつかの色への嗜好集中がみられるが、学年が上がるに連れて嗜好の多様化が進む。3) 黒は年齢により好き嫌いが変化する。小学 2 年では男女共に嫌いな児童の方が好きな児童よりはるかに多い嫌悪型の色であるが、小学 5 年になると男子では逆転し、好きな男子の方が多い嗜好型の色となり、女子でも好き嫌いが分かれる両価型の色となる。中学 2 年の男子生徒は黒を非常に好む。

表1 嗜好上位色

順位	男子			女子		
	小2	小5	中2	小2	小5	中2
1	金 (71.1)	金 (38.0)	v.B (20.7)	水色 (32.6)	水色 (38.3)	lt.BG (33.2)
2	銀 (56.5)	銀 (26.0)	Bk (19.9)	黄 (30.1)	ピンク (29.9)	lt.G (17.6)
3	青 (15.2)	青 (23.7)	lt.BG (16.3)	金 (22.5)	薄緑 (22.9)	lt.Y (16.2)
4	赤 (10.7)	黒 (17.0)	v.R (13.9)	紫 (22.0)	黄 (21.7)	v.Y (16.2)
5	緑 (6.6)	赤 (14.7)	Gold (13.4)	ピンク (20.5)	黄緑 (14.1)	lt.P (12.0)

()は1位, 2位選択率の合計%

表2 嫌悪上位色

順位	男子			女子		
	小2	小5	中2	小2	小5	中2
1	ピンク (56.0)	ピンク (45.4)	Olive (21.4)	黄土色 (41.5)	黄土色 (45.2)	Olive (42.9)
2	黄土色 (17.7)	黄土色 (26.2)	dk.RP (13.2)	黒 (34.5)	深緑 (23.1)	OLG (12.7)
3	黒 (17.2)	茶色 (20.2)	dk.R (9.4)	深緑 (22.8)	茶色 (22.4)	dk.RP (11.3)
4	ベージュ (17.0)	ベージュ (18.7)	OLG (9.2)	灰色 (21.5)	灰色 (19.9)	Beige (10.7)
5	茶色 (16.8)	灰色 (12.9)	p.PI (9.0)	茶色 (14.6)	黒 (16.0)	dk.R (10.3)

()は1位, 2位選択率の合計%

3-2 配色

配色への嗜好率と嫌悪率の関係を図5に示した。図から以下の概要を読み取れる。1) 男子は小学2年生では圧倒的にダイナミック(黄と黒と青)な配色を好むが、学年が上がるに連れてその嗜好率は低下し、嫌悪率が上がっていく。逆にモダン(白と水色と黒)な配色は小5・中2から好まれるようになる。2) 女子では、水色と白によるクリアな配色とピンク系の濃淡と白から成るプリティな配色はどの学年からも好まれやすい。学年が上がるほど人気が出てくるのはオレンジや黄色、黄緑によるカジュアルな配色である。

3-3 小学生男子における金色のイメージ

小学生男子から得られた金色の連想語をその意味により分類した(表3)。金色のイメージとして、両学年ともに多くの回答がみられたのは「金メダル」であった。小2で多くの回答がみられたのは「輝き」に関する視覚的な印象と「かっこよさ」に関わる連想であった。小5になると、金の延べ棒のようなお金やゴージャスな感じ、事物の頂点、というような連想がより多くを占めるようになる。また小5では、えらそう、自慢しそう、かっこつけ、目立ちたいというようなネガティブな側面の回答もみられるようになってくる。

表3-1 金色の連想語(小2男子)

タイプ	%	語例
輝き	15.3	きらきら、輝く、ぴかぴか、まぶしい
金メダル	11.7	金メダル、メダル、トロフィー
お金	11.6	金貨、お金、500円
宝石・王冠等	7.5	宝石、宝、王冠、王様
かっこいい	6.8	かっこいい
きれい	4.7	きれい
お金もち	2.8	お金もち
星月等	2.4	星、月、太陽
高級・豪華	2.3	高級、豪華
目立ち	0.9	目立つ、派手
強そう	0.6	強そう
その他	33.3	折り紙、自転車、時計

表3-2 金色の連想語(小5男子)

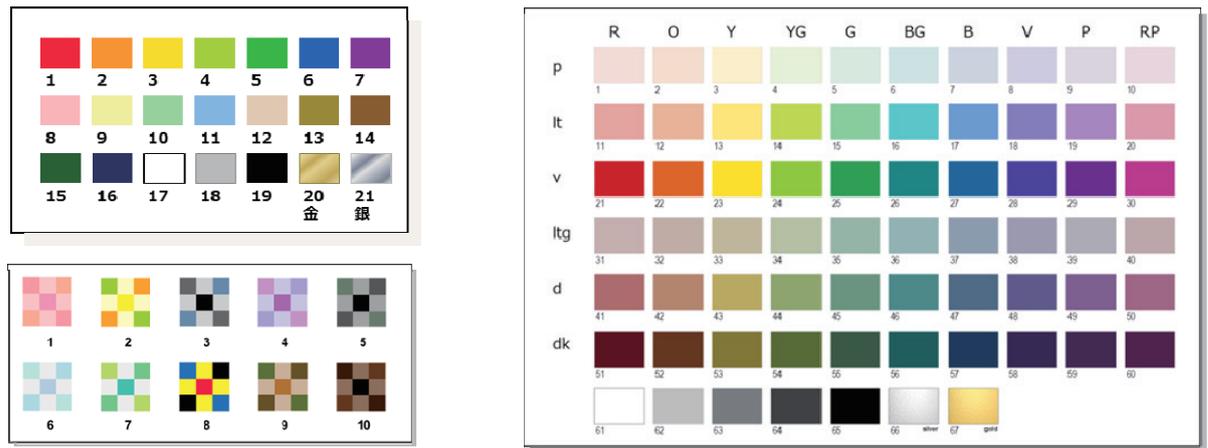
タイプ	%	語例
お金	23.0	金貨、金の延べ棒、500円
豪華・高価	12.2	ゴージャス、高級、豪華
金メダル	11.1	金メダル、トロフィー、
輝き	9.0	きらきら、ぴかぴか、輝く、まぶしい
貴金属・宝	5.5	財宝、宝石
一番、特別	5.4	一番、頂点、特別な色・感じ
お金もち	4.3	お金持ち、セレブ
目立ち	3.6	目立ち、派手、目立ちたがり
ゲーム関連	2.6	キャラクター、ゲーム機、伝説、レア
かっこいい	2.1	かっこいい
きれい	1.4	きれい
その他	20.0	金箔、金閣寺、折紙、ツタンカーメン、

3-4 小学生女子の色彩嗜好とその理由

ピンク、水色、薄紫への嗜好率は小学2年と5年で選択傾向はほぼ同じで、水色と薄紫の人気は共に約4割ととても高く、ピンクは2割弱に留まった。それぞれの色の選択理由は、ピンクでは「かわいらしい」「女の子っぽい」に対して、水色とうすい紫では「落ち着く」「やさしい」「さわやか」「大人っぽい」という回答がみられた。小学校に入り、幼稚園までの子どもっぽいピンクからの卒業という意識が嗜好結果に反映していると考えられそうである。

3-5 好きな色が示す意味の性差

以上の調査結果から想像するに、男子が好きな色というのは、自分が手に入れた、自分にとって高い価値をもつ物や見え方を示す色で、シンプルな欲求の反映であるといえそうである。一方、女子が好む色は、自分を演出するため、主にファッションに活用するコーディネートカラーとして効果が高い色と考えられる。つまり女子の嗜好色には色をうまく使うことで他者からこう見られたいという他人の視点が意識されている。こうした嗜好色と性差の関わりについては、自己認識の発達、児童・青年心理学などの知見を用いて、今後、検討を進める必要があると考えている。



1プレイブ 2カジュアル 3摩登 4エレガント 5シック
6クラ 7フレンチカジュアル 8ダイナミック 9フォーマル 10クラシック

図1 カラーチャート 左：小学生用 左下：配色（小中学生共通） 右：中学生用

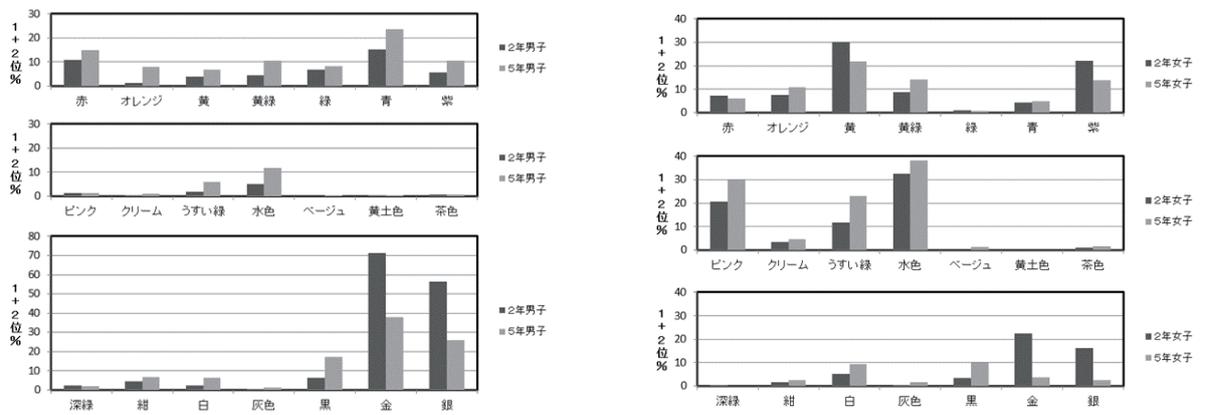


図2 小学生における色彩嗜好率 左：男子 右：女子

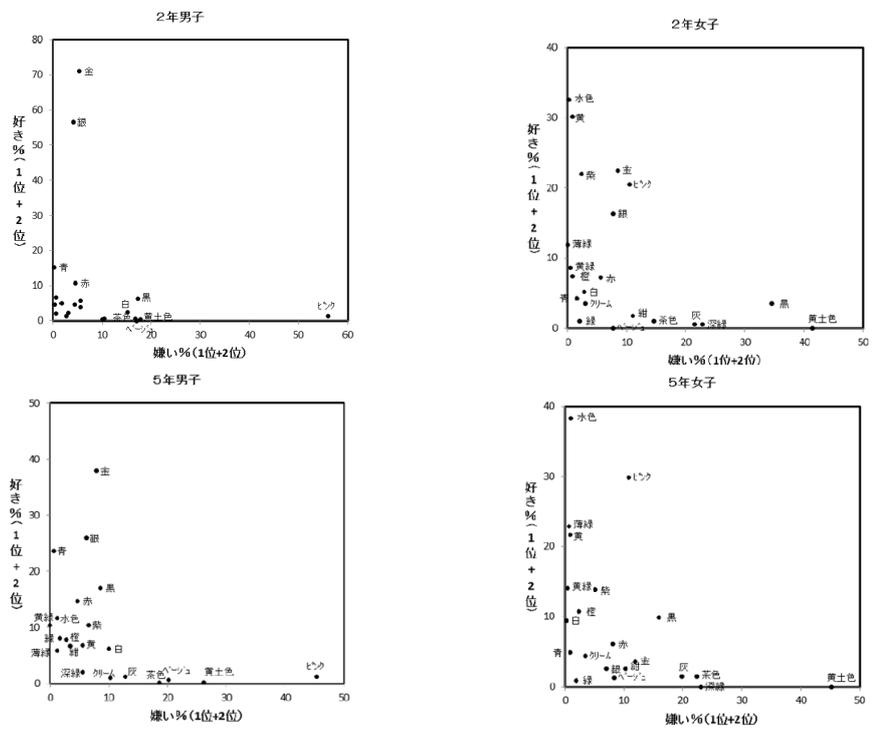


図3 小学生における色彩嗜好と色彩嫌悪 左：男子 右：女子

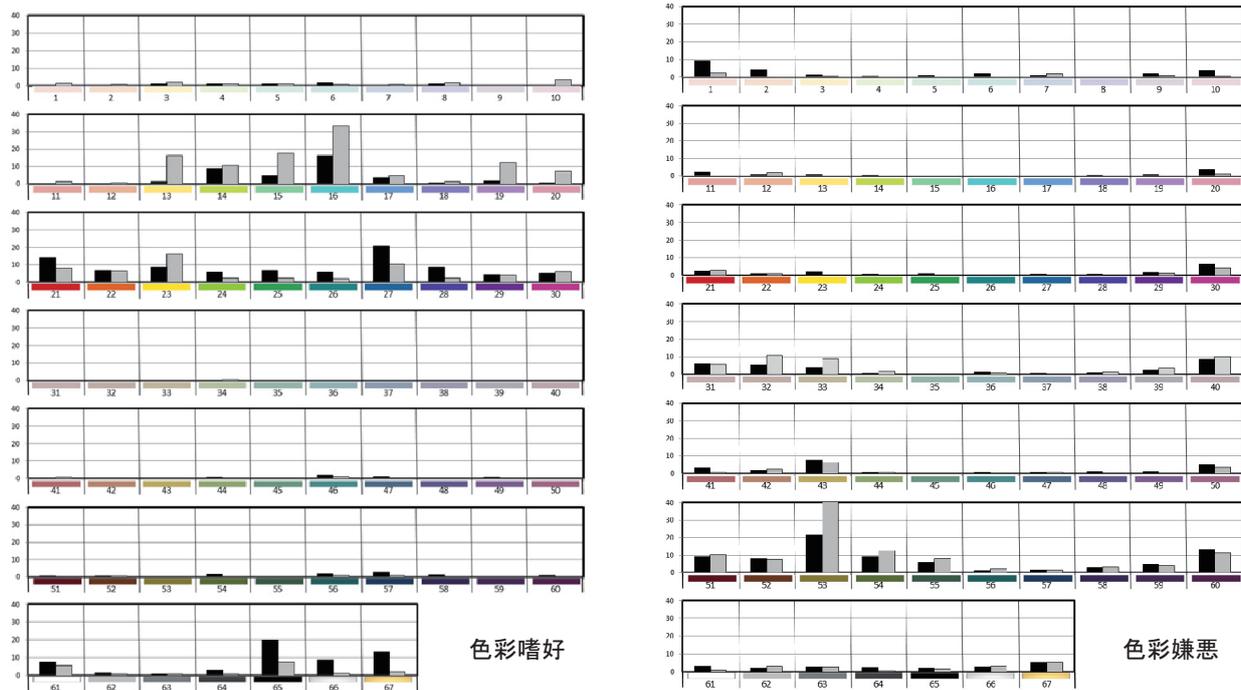


図4 中学生における色彩嗜好と色彩嫌悪 (黒縦棒：男子 灰縦棒：女子)

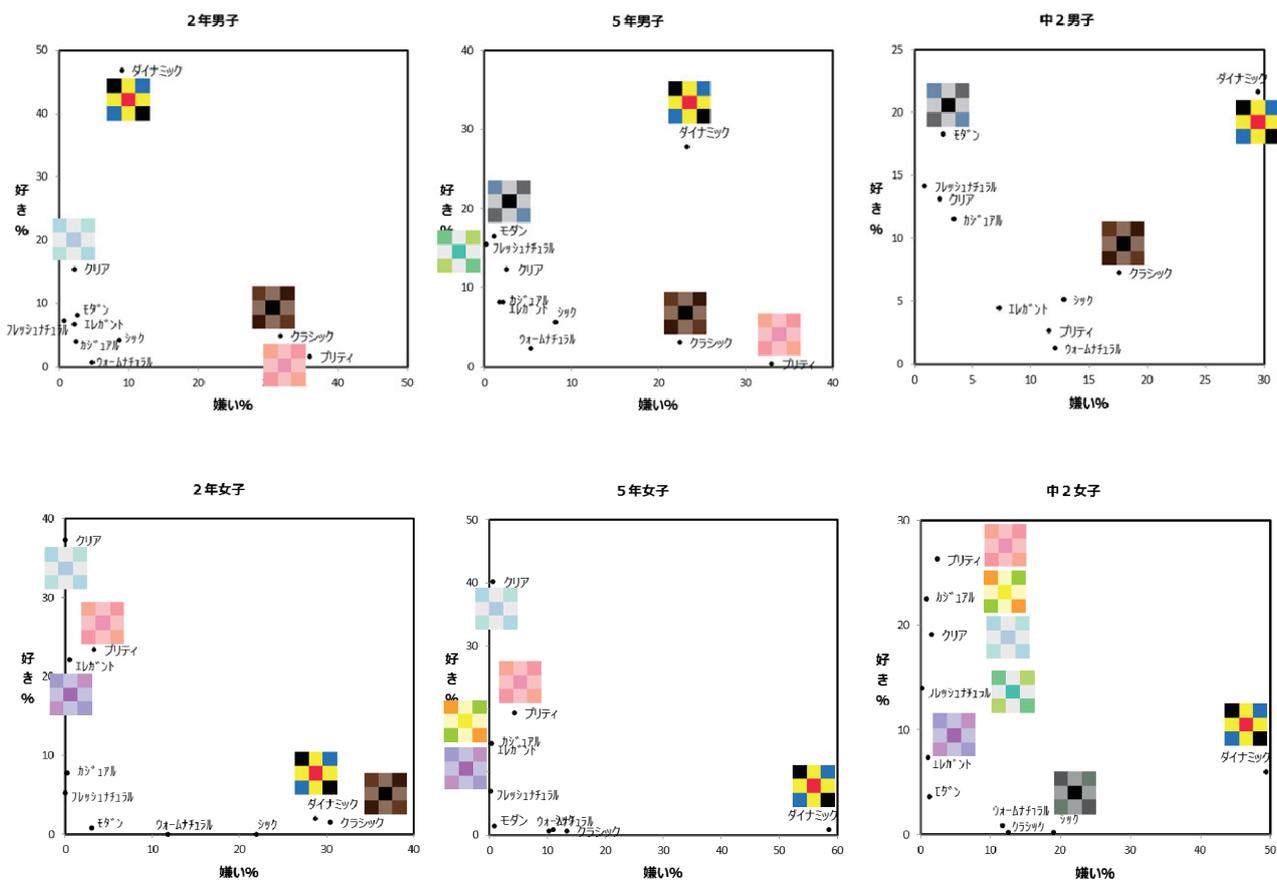


図5 配色に対する嗜好と嫌悪